

《ご参考》 前回開催（2017年）の結果について

第22回試験（2017年7月23日実施）を対象とし、企業部門24チーム、学生部門24チームの合計48チームから応募があり、試験の結果、高崎経済大学飯島ゼミナール（チーム名：チームゼミ長・副ゼミ長）が総合第1位となった。

2017年11月7日（火）に東京商工会議所にて表彰式を開催し、同チームへ「ベストeco-MASTERチーム」の称号を授与するとともに、企業部門、学生部門の上位3チームを表彰した。



学生部門上位3チーム



企業部門上位3チーム



総合第1位チーム

以下が総合10位までの順位になります。※合計点数は300点満点。

| 順位 | 母体組織名 | チーム名 | 合計点数 |
|-----|------------------------------|----------------|-------|
| 1位 | 高崎経済大学 飯島ゼミナール | チームゼミ長・副ゼミ長 | 285点 |
| 2位 | 株式会社デンソー | チーム生産企画 | 282点 |
| 3位 | 東洋ガラス株式会社 | 未来を創るなかまたちAチーム | 275点 |
| 4位 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 阿南高等専門学校 | テラロッサ | 274点 |
| 5位 | 青森昭和電線株式会社 | 青森 HSG | 273点 |
| 6位 | 公益財団法人 東京都環境公社 | TEPSC | 272点 |
| 7位 | 高崎経済大学 飯島ゼミナール | チームグンマー | *267点 |
| 8位 | 株式会社タケエイ | チーム月見うどん | *267点 |
| 9位 | 株式会社NTT フィールドテクノ | かかみがはら B | 266点 |
| 10位 | 高崎経済大学 飯島ゼミナール | チームKKO | 263点 |

※「*」点数が同点となったため、事前にホームページにて周知していた「3人の中で最も低い点数を比較する」をもとに判定。

「優勝チームの声」

高崎経済大学地域政策学部 3年 中澤 大輔 氏（写真中央・学年は2018年2月末日）

私が所属するゼミでは、3年の前期にeco検定公式テキストを用いたプレゼンテーション演習を行っています。他人に“教える”というプロセスの中で、単にテキストを読んだり、問題集を解いたりするだけでは得られない、深い学びと思考を実践できたと感じています。その成果が、eco検定の合格につながったのではないかと思います。これから卒業研究を進めていくうえで、eco検定への挑戦で培った知識、視野、マインドセットが、強固な基盤となると実感しています。

